あなたとさいたまをむすぶ

トトロのふるさと

Hometown of“TOTORO”

埼玉民医連
医療生協さいたま
ワークスタイルマガジン

Nov 2018
No.186
11

地域と共に ～浦和民主診療所～

トトロのふるさとFriends
福島第一原発周辺20kmを見学して @福島 報告

いいの診療所 松本純所長の話を聞いて @福島 報告

埼玉といえば…なに？
埼玉あるある 4コマ漫画連載中！

これから医師になるあなたへ

ワークスタイルマガジン
トトロのふるさと

〒333-0831 埼玉県川口市木曽呂1317番地 048-296-5822
埼玉協同病院 教育研修センター www.skymet.jp/ デザイン・編集：パトンプロダクツ株式会社

Doctor's Off Time
ドクターズ・オフタイム

初期研修医2年目 春日 みさき

物件探しで気分転換!

2年目研修医の春日みさきです。私のオフの時の過ごし方はごく普通です。買い物に行ったり、友人とご飯を食べたり、温泉に行ったり、本を読んだり、映画をみたり。特に人と会って遊ぶことは大好きです。平日でも同期の研修医や先輩と飲みに行くことも多くリフレッシュになっていると思います。佐賀大学出身で今は実家に近いため家族と過ごす時間も多くなりました。写真は母の琉球舞踊の舞台を見に行った時の親子三人の写真と休みの日におでかけしているところの写真です。

特に紹介できる面白い話がないため、私の変わった趣味のお話をしようと思います。ここ数年、物件探しにはまっています。引っ越しの予定はないけれど、ほぼ毎日検索します。SUUMOアプリをiPhoneにいれ条件を絞って検索します。条件を保存できるので新しい空き物件が出ると「おすすめの物件が届きました」と通知が入り確認します。毎日のようにチェックしています。同じ2LDKでも部屋によっては配置や広さが違います、収納力も水回りも違います。写真を見ながらその家で自分が生活するのも想像することを楽しむのです。新築の建売や土地の情報などもあり、将来はマイホーム!?なんて思ったりします。休みの日に住宅展示場に行ったこともあります。物件探しは少しの時間でもできる気分転換であり、私にとっては日常になっています。

Information

医学部受験模擬面接会
■期　間　12月15日(土)
■会　場　ふれあい会館(埼玉協同病院となり)
※詳しくはSKYMETホームページをご覧ください。

埼玉協同病院　見学・研修説明会
■日　時　平日　月～金　8:10～17:00
随時受付しています。
SKYMETホームページをご覧ください。
(希望日の7日前までにお申込みください)
■会　場　埼玉協同病院
■対　象　医学生

奨学金制度説明会
■日　時　11月17日(土)、12月1日(土)、1月5日(土)
いずれも10:30～12:00
(希望日の前日までにお申込みください)
■会　場　埼玉協同病院
■対　象　医学生・医学部受験をご検討の方

【埼玉民医連・医療生協さいたま奨学金制度概要】
①貸与金額　月額80,000円
②返済免除制度あり(当法人に入職した場合)
③特別貸付制度・入学時貸付制度あり

お申込み お問合せは こちら
埼玉協同病院 教育研修センター SKYMET
048-296-5822 skymet@mcp-saitama.or.jp

発行：
埼玉民医連
医療生協さいたま
M4251114789651524

「病気の原因は本人だけでなく社会の問題 複合的な視点で地域の健康を守りたい」

浦和民主診療所所長
元全日本民医連会長

肥田 恭

ひだ ゆたか

#26 Message from the Doctor

確固たる意志で埼玉協同病院の礎を築く。

「お金のあるなしに関わらず、平等な医療を」という強い信念のもと、「埼玉協同病院」の設立に尽力した医師。現在は法人内の8つの診療所の中でもセンターの役割を持つ「浦和民主診療所」の所長として、地域医療を支えている。

貧富の差に関係なく医療に尽くした父への憧れ

現在、私は浦和民主診療所の所長をやっていますが、もともとこの診療所は私の父が初代所長を務めていました。昭和39年、東京オリンピックの年ですね。その当時、私は大学1年生。診療所にも時々顔を出していました。

その頃は、労働者への保障が十分ではありませんでした。例えば会社の業績が悪化して急にクビになったときなどは、健康保険証が使えなくなります。そのために病院にかかれず、手遅れになってしまう人もいたようです。そこで会社や役所と交渉して、次の仕事が見つかるまで健康保険証を使えるように働きかけるなど、数々の役割を担っていたのがこの診療所です。私はそのことをここで見たり、職員から聞いたりしながら学生時代を過ごしたわけです。

ですから、私は今でもお金のあるなしに関わらず、すべての人が平等な医療を受けられるような社会を目指して活動を続けています。65歳を過ぎたので一度定年退職しましたが、この診療所でまた働きながら、地域の人たちが健康に過ごせるように力を尽くしたいと思っています。父がそうであったように、これは私の運命と言ってもいいかもしれませんね。

地域の健康を守るため設備の整った大病院と連携

浦和民主診療所は、多くの検査機器を備えた重装備型の診療所。CTや胃カメラなどの設備もあります。健康診断などで再検査の結果が出たときも、詳しい検査をこの診療所内で行うことができます。患者さんとしても、慣れた場所だと安心される方が多いですし、他の病院にかかる手間も省けます。診療所では、ご自宅で患者さんを診る「往診」も行っていますが、通常は周辺1～2㎞圏内で行うのに対して、ここでは4～5㎞圏内と、広い範囲を周るのが特徴です。

私が所長として診療するにあたって重視しているのは、付近の病院との連携です。診療所には入院設備はありませんから、患者さんに大きな病気が見つかったときは、やはり大きな病院に行ってもらう必要があります。でも、付近の病院と繋がりがないと、紹介状を書いても受け入れてもらえないなどの不都合があるかもしれません。ですから、大きな病院も出席する病診連携の会議などには必ず顔を出して、いろいろな先生たちと顔の見える関係を作ることが重要になってきます。

はじめの頃の感動と衝撃をいつまでも大切にしたい

大学を卒業してすぐは、山梨県で働いていました。医師になって1年目のとき、夜中に往診を頼まれたんですね。8～10歳くらいの女の子が高熱で発疹が出ており、病院にも連れていける状態じゃないと。そこは貧しい農家。行ったときには、女の子はすでに息が止まった状態でした。すぐに人口呼吸や心臓マッサージなど、できる限りの措置をしましたが、結局息を吹き返すことはありませんでした。

今思えば、あれは「はしか」だったのでしょう。早めに診れば助かっていたと思いますが、お金がなくて病院に連れていけなかったのだそうです。将来性のある子どもが治るはずの病気で亡くならざるを得なくなるのを目の当たりにしたことで、こういう状況は絶対に無くさなければならないと強く思いました。

やはり医療の現場に、お金の差別を持ち込んではいけないんですよ。お金がなくても、まともな医療が受けられるような世の中にしなくては。だから、これから医師を目指す人には、社会の動きに敏感であってほしいと思っています。病気だけを診るのではなく、いろいろなことに関心を持って、自分の身をおいて考えられるような人間になってほしいですね。

肥田 恭 | Profile

出身	東京都
大学	1972年 東京大学医学部卒業
職歴	1972年 山梨勤労者医療協会巨摩共立病院
	1976年 浦和民主診療所・さいわい診療所
	1978年 埼玉協同病院
	1985年 埼玉西協同病院院長
	1992年 埼玉協同病院院長
	全日本民医連理事
	2000年 全日本民医連副会長
	2002年 全日本民医連会長
	2010年 浦和民主診療所所長

外来・健診・在宅で総合的に地域医療を支える診療所

医療生協さいたま

浦和民主診療所

Saitama Local in URAWA

1964年、地域の強い要望により、浦和市内に建設された診療所。法人内の診療所のセンター的な役割も果たしています。

旧浦和市周辺にある診療所の中心的役割を担うため誕生

開設55年目を迎える浦和民主診療所。県庁所在地である浦和にも民医連の診療所を作ってほしいという声により、1964年に設立されました。診療所は500m～1㎞圏内から患者さんがくるというのが一般的ですが、ここは電車やバス、車などを利用して10～20㎞と離れたところからも患者さんがきているのが特徴です。

初代の所長は肥田舜太郎医師。医療の分野でセンターとしての役割を果たすため、民医連のさまざまな診療所からプロフェッショナルが集まりました。今はセンター病院として埼玉協同病院がありますが、はじめはこの浦和民主診療所がその役割を担っていたのです。

浦和民主診療所では、「外来」「健診」「在宅」の3分野をどれかに偏ることなく行っています。所内ではそれぞれの分野について検討するチームがあり、職員はそのどれかに所属しています。

患者さんを診るときは病気だけでなく、生活全般に目を向けることもとても重要。病気の原因が、生活に由来している場合も少なくないためです。生活困窮や家族関係の問題など、困難な背景があることを感じたら、まずは診療所の各担当と話し合い、市の福祉担当者に連絡を取るなどして、患者さんにとっていちばんよい環境を作るにはどうしたらいいか模索します。そのときに「無料低額診療事業」を案内することもあります。

情報共有の様子

医療分野の助成のひとつ「無料低額診療事業」とは？

「無料低額診療事業」とは、経済的に困難な人が必要な医療を受ける機会を制限されることのないよう、無料または低額な料金で診療を行う社会福祉法に定められた事業です。

これは一定の生活水準以下の人であれば、誰でも使える制度です。しかし、制度はあっても知名度が低く、ほとんど利用されていない状況でした。

民医連はその制度をまた利用できるよう、国や県に掛け合いました。そのときに代表して意見を伝えていたのが、全日本民医連の当時の会長。現在、浦和民主診療所の所長をしている肥田 拳医師です。

今では、浦和民主診療所も含めた医療生協さいたまのすべての医科、歯科事業所と老人保健施設で「無料低額診療事業」を実施しています。診療所の設立から50年以上経ちましたが、当時と同様に、患者さんの中にはお金がなくて困っている人がたくさんいます。初代所長から、現在の所長まで変わらず引き継がれている「無差別・平等の医療を」という想い。それは、医療生協さいたま全体の考えでもあります。

外来、健診、在宅の3つの柱で地域の健康づくりをサポート

浦和民主診療所は、地域住民の健康を切れ目なく支えるためには、「外来」「健診」「在宅」の3分野すべてが重要なものであると捉えています。年に1回は健康診断を受けて自分の体の状態をチェックし、何か悪いところが見つかれば治療する。通院が困難になれば往診をして「住み慣れた町で最後まで」の願いを支えています。

今年度は「フレイル予防」をテーマした学習会を頻繁に行っています。フレイルは、直訳すると「虚弱」。健康な状態と、要介護状態の中間を表す言葉として、日本老年医学会が2014年に提唱しました。ポイントとなるのは、「運動」「食事」「社会参加」。この3つのどれかが欠けると、フレイルに陥りやすくなります。例えば、加齢によって起こりやすいのが転倒ですが、高齢者が骨を折ると治るまでにかなりの時間を要します。この間に筋力が衰えたり、人間関係が希薄になると家にこもりがちになり、最後には要介護状態に。でももしフレイルになっても、その兆候を早期に発見して日常生活を見直せば、進行を遅らせたり、健康な状態に戻せるかもしれません。だからこそ、フレイル予防はとても重要。浦和民主診療所は様々な活動を通じて、地域で最後まで生き生きと暮らせるようサポートし、地域のみなさまと一生涯お付き合いしていける診療所でありたいです。

健診部会の様子

健康アドバイス展示コーナー

1Fと2Fのロビーに設けられた展示コーナー。日常の診療の中ではお伝えしきれない情報をここで見せるようにしています。「塩分は控えめに」「運動はこまめに」など、文字だけよりもビジュアルを使ったほうがわかりやすいのではないかと試行錯誤。ちなみに今年の夏は「夏祭り」、冬は「おせち料理」がテーマ。食べ物の見本を作って、それをめくると塩分がどれくらい含まれているかわかるようにしました。

New Face Doctors

新入医師紹介

今年の4月から埼玉協同病院で
働きはじめた7名のドクターのうち
3名を紹介します。

#1

埼玉協同病院　医師

山本　茂輝

Yamamoto Shigeki

出身大学
順天堂大学

趣味
映画鑑賞

性格自己診断
気分屋

大学時代の部活
卓球部

Q 就職したきっかけ

大学1年生の時から奨学生として埼玉協同病院にはお世話になっていました。地元が越谷市であることもあり、埼玉で医療をしたいという思いは大学六年間を通しても変わらず、こちらに決めました。

Q 総合内科研修が始まって5ヶ月の感想

始まってすぐは仕事に慣れることが大変で、頭がパンクしてしまいそうでした。5ヶ月経って今もパンクしそうなのは変わりませんが、毎日学ぶことばかりで楽しいと思えるようにもなってきました。また、様々な生活歴、職歴、性格の患者さんと触れることもできて、悔しさや悲しさを味わうこともありますが、日々がとても充実しています。

Q 出身大学紹介・大学時代の思い出

順天堂大学は1年生の時に千葉の酒々井で1年間、寮生活を送ることになっています。スポーツ科学部の同学と2人1部屋で生活しましたが、受験終わりの自分にとって凄く楽しい1年間でした。もう一つの思い出は、卒業旅行の初ヨーロッパ旅行です。ドイツビールが国試終わりの体に染み渡ったのを今でも覚えています。

#2

埼玉協同病院　医師

山﨑　駿気

Yamazaki Toshiki

出身大学
新潟大学

趣味
サッカー , フットサル , 映画

性格自己診断
落ち着いてる

大学時代の部活
サッカー

Q 就職したきっかけ

友人から薦められたことが当院を知ったきっかけです。病院見学で研修医を育てる環境が整っている事、見学した病棟の雰囲気が大変良かったと感じたので志望しました。上級医に新潟大学出身者が多かったのも大きかったです。

Q 総合内科研修が始まって5ヶ月の感想

就職前に抱いていた研修医生活のイメージと実際の研修生活のギャップがほとんどないと感じています。現在D4、C2病棟を終了しましたが、どちらも病棟の雰囲気が大変明るく、のびのびと研修させていただきました。もちろん厳しい指摘や指導をされることもありますが、指摘された事を意識することで着実に成長していると実感できるため、めげることなく頑張れています。

Q 出身大学紹介・大学時代の思い出

サッカー漬けの毎日でした。週5日で練習し,時にこの年で何をやってるんだろうと思ったこともありましたが、振り返ってみると当時でしかできない貴重な体験でしたし、辛かった練習もいい思い出です。またサッカー生活で培った体力と上下関係の関わりは医師生活を送って行く上でも役立っていると感じています。

#3

埼玉協同病院　医師

村田　俊介

Murata Shunsuke

出身大学
筑波大学

趣味
筋トレ、アコースティックギター

性格自己診断
真面目、負けず嫌い

大学時代の部活
ハンドボール部

Q 就職したきっかけ

埼玉県草加市出身なので、もともと埼玉県で医療を行いたいと考えていました。大学5年生の時に埼玉協同病院を見学した際、埼玉協同病院では地域の方々に寄り添った医療を行っており、職員の方々の雰囲気もよく、ここで自分も埼玉県の医療に貢献したいと思い就職しました。

Q 総合内科研修が始まって5ヶ月の感想

総合内科研修が5ヶ月経ち、最初は多くの方々の助けを借りながら、同期と助け合いながら何とか仕事をしておりましたが、ようやく病棟の業務にも慣れてきました。日々多くの患者さんの診療を行うことで、多くのことを学ぶことができていると実感しております。逆に患者さんから元気をいただくことばかりです。そんな患者さん方の笑顔のために、これからも精進して参りたいと思いますのでよろしくお願いします。

Q 出身大学紹介・大学時代の思い出

大学時代は部活に専念していました。大学の講義や実習が終わったらすぐに部活に行き、夜遅くまで部活に励み、部活の先輩後輩と良くご飯に行ったり飲みに行ったりしていました。大学6年生の最後の東医体では優勝はできませんでしたが3位とメダルをもらえたことはとてもいい思い出です。部活を通して多くを学ぶことができ、今の仕事でも活きていると思います。

トトロのふるさと Friends

埼玉の医療を考える会

@福島　報告

福島第一原発周辺20㎞を見学して

福島第一原発周辺の津波の被害にあった地域や今でも帰還困難区域に指定されて人の立ち入ることのできない地域の現状を初めて見ることが出来て今回の合宿は個人的にはとても有意義なものだった。

震災直後は全国的に報道されていた被災地の様子も今ではほとんど見ることがなく今回の福島の現状を見るまではほとんど復興は終わっているのではないかと思っていた。しかし津波に流されて何もなくなったままの土地や7年間放置された建物を見てまだ全然復興は進んでいないと感じた。

福島が完全に復興するためには今後数十年の年月が必要とするだろう。当事者ではない私たちも震災のことを風化させてはいけないと強く感じた。

いいの診療所 松本純所長の話を聞いて

（被災した方は）3・11のまま時が止まっているが、年はとっているという言葉に衝撃をうけました。7年もたてば年による変化や周りの環境は大きく変わります仮設住宅では孤独死が問題となっていて仮設住宅で最後を迎えたくてもマスコミが押し寄せてくるので仮設住宅で最後を迎えられないという話も印象的でした。仮設といってもその人の家であることに変わりないですしもっと柔軟な対応が必要ではないかと思いました。

きみもトトロのふるさとFriendsに登録しよう!

医学生、そして、医学部を目指している皆さんにご案内します。埼玉は人口当たりの医師も看護師も病床も日本一少ないにも拘らず、今後日本一急速に高齢者が増える県です。このままだと増大する需要に対応出来ず、現在の医療崩壊状況がさらに悪化することは必至です。埼玉県で働く医師や看護師を抜本的に増やす事がどうしても必要であり、この問題の解決に一緒に取り組んでくれる仲間として、会に参加してくれる方の応募を心からお待ちしています。

トトロのふるさと Friends に参加していただける方は右のＱＲコードを読み取り、登録フォームよりご登録ください。

連絡・問い合わせ先｜**埼玉協同病院 教育研修センター**

http://www.skymet.jp/
https://www.facebook.com/kyoudou.skymet

埼玉協同病院 院長
増田 剛

あなたも奨学生に!

医学生協さいたま・埼玉民医連では、以下の目標をかかげ医学生の奨学生を募集しています。

また、それぞれの都道府県に民医連の事業所があり、様々な面からみなさんの学生生活をサポートさせていただきます。

夏には奨学生合宿、年末には埼玉奨学生交流集会 などの企画があり、全国的にも「民医連の医療と研修を考える医学生のつどい（略称:つどい）」が行われ、医療・福祉・研修制度に関わる様々な事が学べます。ぜひ、あなたも奨学生の輪に加わることをご検討ください!

＜埼玉民医連奨学生の目標＞

地域から信頼される医師となるために、医師に求められる役割を理解し・医療・福祉・臨床研修制度のあり方について学びます。

＊奨学金制度の概要につきましては裏表紙のInformationをご覧ください。

さいたま あるある 4コマ　浦和なら浦和レッズ?

さいたま豆の木 マメ 知識

浦和とうなぎ

江戸時代の浦和近郊は沼地が多く、味の良いうなぎがとれることで評判になり、中山道を行き来する人たちが足を運んだそうです。今では街も開発されてうなぎは獲れませんが、うなぎの蒲焼という二百年来の伝統の味は、「浦和のうなぎを育てる会」によってしっかりと受け継がれています。ちなみにマスコットの『浦和うなこちゃん』は、アンパンマンの漫画家として知られる故やなせたかしさんが生みの親です。